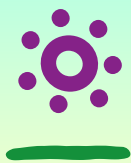




事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：平澤 理 副会長：藤澤健二 幹事：杉本徳治 公共イメージ向上委員長：市川満貞

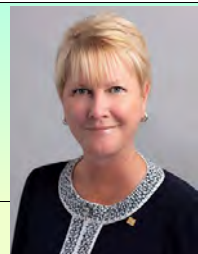


イマジン
ロータリー

2022-2023 国際ロータリーのテーマ

IMAGINE
ROTARY

2022-2023 RI会長
ジェニファー E.
ジョーンズ
＜カナダ（オンタリオ州）＞



第1651回例会 令和5年2月28日(火)

■ 点 鐘

12:30

■ ソング

それこそロータリー

藤澤健二ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・上伊那グループガバナー補佐 山口健雄 様（箕輪RC）
- ・I.M.実行委員長 北澤宗則 様（箕輪RC）
- ・懇親会委員 藤澤久美子 様（箕輪RC）
- ・伊那中央ロータリークラブ支援留学生（2022年10月～2023年9月）
ヘーラタ ムディヤンセーラーゲ ダッミカ マノージャ グナワラダナ 様

■ 会長談話 平澤理会長



ロータリーについて出版された「ロータリーの心と原点」に、ロータリーで大事なことが3点あると記されていました。要約してご紹介します。

第1は、ロータリーは奉仕活動を行うに当たって、各クラブが絶対的な自主権をもっているという事です。RIは如何なるクラブに対しても、特定の奉仕活動を命令したり、禁止したりすることは絶対にしてはならないという原則です。RI・地区・クラブという組織があるが、決して上下関係ではなく、各クラブの活動を決めるのはあくまでもクラブの自主的判断によるものだという事です。

第2は、「寛容」の精神についてです。個々のロータリアンが、ロータリーに関して見出す価値や喜びは、人によって様々です。社会奉仕や国際奉仕の具体的活動に汗を流すことに喜びを感じる人、クラブの親睦活動の中での自己啓発に価値を見出す人、など様々です。このように人々の価値観には相違があるが、ロータリーとして1つにまとまる、それは寛容の精神「相手の善意を信ずる心」だと思います。寛容の精神こそ、ロータリーが目指す「友愛と親睦」の堅い基盤をなすものであるという事です。

第3は、Object of Rotary ロータリーの目的です。ロータリーは発足以来100年間に社会奉仕や国際奉仕の分野で、多くの成果を挙げてきました。特にポリオ撲滅の取り組みは、人類に対する大きな貢献です。しかし、世の中を広く見渡すと、善意に基づく慈善団体や奉仕団体は、他にも多く活動しています。しかし、ロータリーは他の団体とは異なる本質・原点というべきものがあり、それが Object of Rotary です。

ロータリーの唯一の目的は「有益な事業・職業の基礎に奉仕の理想を据える」ということです。「自分の職業の倫理性を高め、それを通じて広く世の中に貢献する」という事です。

以上の様な事から、私はロータリーについて非常に参考になった一冊でした。

■ ニコニコボックス

- ◆寺田周平様 (前回卓話講師) よりニコニコBOXをいただきました。
- ◆平澤理 箕輪ロータリークラブより、ガバナー補佐 山口様・北澤様・藤澤様、ご来訪を歓迎致します。支援留学生 ダッミカさん、卓話をよろしくお願い致します。
- ◆杉本徳治 箕輪ロータリークラブより、上伊那グループガバナー補佐 山口様・北澤I.M.実行委員長様・懇親会委員 藤澤様、お越しいただきありがとうございます。支援留学生ダッミカさん、クラブフォーラムよろしくお願い致します。
- ◆田中真人 山口ガバナー補佐、箕輪ロータリークラブ北澤様・藤澤様、支援留学生ダッミカ様、本日はようこそお越しくださいました。のちほど挨拶のほう、よろしくお願い致します。
- ◆伊藤かおり 今日はダッミカさん、卓話にお越し下さりありがとうございます。宜しく願い致します。
- ◆矢島宏 お久しぶりです。
- ◆伊澤和男 馬場さんに怒られました。久しぶりです。日常が続きますように！
- ◆鈴木一比古 伊豆の河津桜を見て来ました。花見の時間は1時間。渋滞時間は3時間。疲れました。分水の桜も楽しみです。
- ◆池上幸平 先日夕方、遅い新年会に行って来ましたら、久しぶりに伊藤好さんと同じ店で会いました。少し話をして席に戻ります時に、事務局の武井さんが旦那さんとデートの食事中でありました。いい所を見せていただきました。だんだんコロナの影響も薄れて、人の出が多くなってきたのかなと感じました。

■ 上伊那グループI.M.のご案内 箕輪ロータリークラブの皆様

2600地区上伊那グループ 2022-2023 I.M.の告知に参りました。今回、実行委員を務めさせていただく事になりました北澤です。よろしくお願い致します。

本年度は3年ぶりに「一同集う」ということを最大のテーマとして、開催準備を進めています。何分、アフターコロナの予定がウィズコロナの環境となってしまう、各クラブそれぞれコロナに対する温度差も生じ、なぜオンラインにしないのかというご意見をいただき、直前まで悩み、ご案内が例年より遅くなり申し訳ありませんでした。

本日は貴重なお時間を頂きましたので、簡単ですがプログラムのご説明をさせていただきます。

3月12日（日）伊那プリンスホール、かつての伊那プリンスホテルにて行います。

登録は187名、参加者は80名ほどいただいております、例年よりは少ないですが多くの方に懇親会までご参加いただけること感謝しております。

受付開始は13:00 開会式・点鐘は13:30からとなります。

従来に近い形で、ご来賓やご招待者を迎え開催させていただきます。

14:00から基調講演。山口ガバナー補佐の肝いりで、瀬戸焼で有名な「瀬戸本業窯8代 水野雄介様」を迎え、瀬戸民芸館の開館までのクラウドファンディングなどの経緯をお話いただく予定です。

15:15から会員セミナー。第2地区公共イメージコーディネーター補佐を迎えて、公共イメージアップとその先の会員増強についてご講演をいただき、お話いただいた項目について、上伊那グループや各クラブ様に落とし込めるよう、コーディネーターのプログラムであるパネルディスカッション形式で、短時間ですがご講演の内容についてご意見・感想を述べていただき、来場の会員皆で意見を共有、モチベアップするというものです。この件で各クラブから1名様、パネラーとしてお願いすることになりますが、従来の、各クラブの誰かにPPなどで発表をお願いするよりは事前準備など負担もなく、当日のコーディネーター指名というのがプログラムの主旨の様ですが、主旨の説明が遅くなってしまったため、ここは早急にコーディネーター様と打合せをして事前に依頼できるよう手配しております。

17:00からは、3年ぶりの大懇親会。本I.M.の本当のメインかもしれません。大きな会場を用意しておりますので、久しぶりにリアルで会うロータリアンの皆様、ふるってご参加ください。

それでは3月12日、箕輪でお待ちしております。



・委員長あいさつ・ダッミカさんの紹介

国際奉仕委員会 委員長の伊藤かおりです。

本日は支援留学生のダッミカさんにお越しいただき、卓話をしていただきます。久しぶりの開催となり、とてもうれしく思います。

少しダッミカさんのご紹介をさせていただきます。

スリランカ出身、昨年の10月より日本に勉強に来ていらっしゃいます。現在は信州大学のマスター1年生で研究しておられます。

本日は私はじめ、クラブの皆さんもダッミカさんのお話が聞けることを楽しみにしていました。ダッミカさん、よろしくお願いいたします。



・卓話 ヘーラタ ムディヤンセーラーゲ ダッミカ マノージヤ グナワラダナ 様



「私の国スリランカ」

- ・南アジア（インド洋）に位置し、面積は九州の約2倍。
- ・スリランカの花は Blue Water Lily、木はナー、動物は巨大リス、鳥はジャングルファウル、スポーツはバレーボールです。

- ・民族衣装はサリーとサラマ。
- ・スリランカは世界の25の生物多様性ホットスポットの1つ。
- ・スリランカの世界遺産はシーギリヤ、キャンディ仏歯寺等々。

その他たくさんの写真と映像で、スリランカの紹介をしてくださいました。

民族衣装



サリー

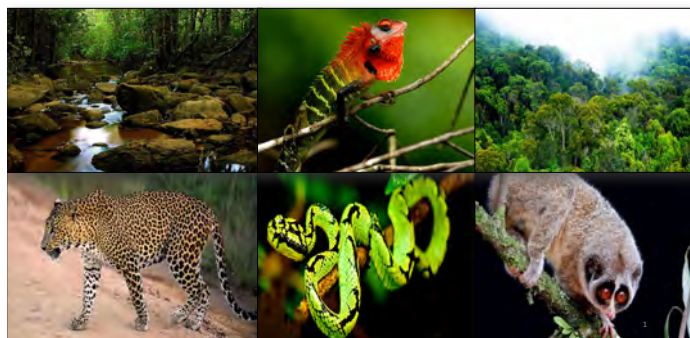
サラマ

Sri Lankan national things

- ・花- Blue Water lily
- ・木 - ナー
- ・動物-巨大リス
- ・鳥-ジャングルファウル
- ・スポーツ-バレーボール



スリランカは世界の25の生物多様性ホットスポットの1つ



スリランカの世界遺産

キャンディ仏歯寺



■ 委員会報告

・2月18日（土）地区IA委員会・顧問教師連絡会の報告 井上修地区IA委員（杉本幹事代読）

令和5年2月18日、松本の商工会議所でインターアクトの委員・顧問教師の会議が下記の要件で行われました。

1. 独自研修について 2. 地区協議会（松商）、地区大会（第一）の日程などについて 3. スキー合宿について 4. その他今後の日程などについて 5. 海外研修について 6. IA研究会について

出席者はリアルが11名、オンライン5名でした。

スキー合宿は大阪、三重、岐阜、愛知、埼玉と他府県や海外の米山奨学生も参加、150名になるようです。居ながらして国際交流が行われるいい会です。他にもレジメによって進められましたが、各クラブとも3年生が卒業すると1～2名になると会員数確保に苦労しているようです。

・2月25日（土）～26日（日）伊那西IAC伊勢研修の報告 小椋青少年奉仕副委員長（杉本幹事代読）

去る2月25日（土）・26日（日）に伊那西高等学校インターアクトクラブ顧問飯田先生と立澤会長・竹内幹事、伊那中央ロータリークラブ 井上青少年委員長と副委員長の小椋で特別研修として伊勢修養団特別「みがく」研修へ参加してきました。

朝 7 時 40 分に伊那西高等学校を出て三重県伊勢神宮へ向かいました。途中事故渋滞などもあり 12 時 30 分に到着。13 時 30 分の研修開始前にみんなで伊勢うどんをいただきました。

研修としては通常火曜日から金曜日まで 4 日間で行われる研修を土曜日・日曜日の 2 日間に凝縮して行うとてもハードな内容でした。まずは武田様から開会の心得、礼法作法についてご説明をいただきました。続いて開講式が行われ、伊勢修養団について説明をいただきました。もともと明治 39 年 2 月 11 日に東京師範学校（現在の東京学芸大学）に在学中の蓮沼門三さんを中心に学生たちによって創立をされた活動という事でした。

当日の参加者は東京・神奈川・愛知などの企業研修の方と、広島地区でNPO法人として大学生を中心としてボランティア活動をしている皆さんを含めた 70 名でした。広島の参加者の皆さんは約 30 名。広島地区の大学生の皆さんが 20 名ということで伊那西 I A C 生も最初は緊張していた様子でしたが、研修中にどんどん異世代間の交流をしていました。

続いて童心行と言って、リクリエーションを参加者皆で行い、参加者間の交わりを作っていました。このころになると他の参加者とも仲良くなり様々な交流が行われていました。

その後、講話をお聞きし、夕食を取りいよいよ禊ぎ行という流れでした。当日は気温 2 度、風速 7 m ほどという厳しい環境下で体感温度は氷点下という状況でした。長年参加されている NPO 法人おのみち寺子屋の代表柿本さんのお話では参加した 17 年間で一番の寒さという事でした。講師の皆さんも口をそろえて一番厳しかったと話をされていました。水行の説明を受け午後 9 時いよいよ五十鈴川へ向かいましたが、服を着て移動する最中でも十分寒く、川のほとりで着衣を脱ぎふんどし 1 枚になった際にはあまりの寒さに皆言葉を失っていました。井上委員



長が話していた通り川に入っていき「五十鈴川 清き流れのすえ汲て 心を洗え 秋津島人」という明治天皇が歌われた和歌を3回唱和しましたが、事前に確認した参加者のSNSに「五十鈴川にはピラニアがいる」という言葉通り、全身を電流が流れるようにピリピリとした刺激がありました。

無事水行が終わり、戻ってきてから講話をお聞きし1日目のプログラムが終了したのが10時過ぎでした。それからお風呂に入り11時30分消灯。消灯後もとくに騒ぐ人もおらず、厳しい研修だったことが伝わってきました。

翌日は5時30分に太鼓の音で起床。即部屋を出て、廊下で男性は上半身裸になり乾布摩擦。*女性は腕のみ。終了後、静座行を行い、みがく研修の名の通り参加者皆で館内の清掃をしました。その後、昼食を取り神宮内宮への参拝をさせていただきました。参拝に当たり正式参拝の方法などを丁寧に教えていただき、本来は手前で参拝することしかできませんが、研修に参加した方は皇大神宮内に入り神主の祈祷をいただくことができました。御正宮と荒祭宮についても説明をいただき参拝を終えました。

その後研修センターに戻り、講話をお聞きし、閉講式を終え12時30分にすべてのプログラムを終了しました。解散時には多くの皆さんが「また来ます」と気持ちを新たにされていました。

その後、自由時間を取り参道及びおかげ横丁でお買い物をし、午後2時出発。伊那西高校到着18時30分という強行日程の研修を終えました。終わりの会に生徒さんに感想をいただきましたが「この寒さに耐えることができれば、この後のいろいろな厳しさを乗り越えることができるように思いました。」「多くの方と交流をすることができる貴重な経験ができました。」と感想をいただきました。

ロータリーの皆様にご理解をいただき、無事研修を修了することができました。まだまだコロナ禍という事もあり、保護者の方が心配して参加できない生徒もいましたが、参加した生徒には貴重な経験をさせることができましたと思います。

井上委員長と小椋からささやかではありますが皆様にお土産を用意しましたので、ご賞味ください。
ありがとうございました。



・2月19日(日) 第3回次期ガバナー補佐研修セミナー・委員長会議の報告 池田幸平次期ガバナー補佐



桑澤直前ガバナーの挨拶に続いて、折井ガバナーエレクトより次期RI会長方針及び地区方針・地区目標の発表がありました。次期RI会長は「世界に希望を生み出そう」をテーマとし、ポリオ根絶は依然としてロータリーの最優先事項であり、ポリオのない世界という夢を実現するためにも皆さんの力が必要だと説いています。

それを受け、第2600地区の方針として、5年前に策定され本年度に最終年を迎える現行のロータリー行動計画を、ポリオ根絶活動を通じて地区全体として明確に実現したいと折井ガバナーエレクトが述べられました。そのためにも「あと一步まで来たポリオ根絶のために私たちは行動する」を重点目標として、古着deワクチンEND POLIOキャンペーンを地区全体で実施し、大きなインパクトをもたらす参加基盤を広げ積極的なかわりを促したいと。それによって公共イメージも向上させたいということです。

是非ポリオ根絶のためにご協力をお願いします。

その後、古川次期地区研修リーダーから地区の現況と活性化策について学んだ後、折井ガバナーエレクトの下、次期ガバナー補佐グループでのディスカッションがおこなわれました。最後に成田パストガバナーの講評で終了となりました。

・次年度地区補助金事業の内容について報告 市川修次会長エレクト



先ほど池田次期ガバナー補佐よりも話がありましたが、次年度ガバナーからの強い要請もあり、前回の例会では次年度の地区補助金事業を「ますみが丘への植林事業」と話をさせて頂きましたが、「古着 de ワクチン」を行う事に改めさせていただきます。又、この事業は伊那ロータリークラブとの共同で行う事に致しますので、ご承知おきください。

先ほどの幹事報告にもありましたが、この後事務局にて伊那ロータリークラブとこの事で打合せを行う事になっています。宜しくお願い致します。

・2月26日（日）伊那市カレー大作戦の報告 宮下健奉仕プロジェクト委員長



去る 26 日（日）伊那市カレー大作戦の配食ボランティアに参加させて頂きました。委員メンバーは肥沼会員・橋爪会員の 2 名と少数でしたが、海老屋さんも総勢でご参加頂き、感謝申し上げます。

毎回 100 食限定とさせて頂きましたが、今回は並んで下さったかた全員へ！！と私の勝手な判断で 126 食を配食させて頂きました。最後は用意したお米が無くなり、鈴木家の夕飯のお米まで提供して頂き、重ねて御礼申し上げます。

次回も「並んでくれた全員へ！！」を掲げて頑張って参ります。

また、一人でも多くのボランティアスタッフをお待ちしております。



■ 出席報告

会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者28名 事前メイク4名
出席率78.05% 前回出席率 修正なし

■ 点 鐘

13:30

次回例会

3月7日（火） 点鐘／12:30 場所／海老屋料理店